

第35期(第3回)社会教育委員会議次第

日時：令和元年9月5日(木) 11:00～
場所：神戸市役所3号館8階 教育委員会室

1. 開 会

2. 議事・報告事項

- (1) 第35期第2回会議議事録（要旨）の確認について 資料1
- (2) 令和元年度社会教育関係団体への補助金交付について 資料2
- (3) 第3期神戸市教育振興基本計画について 資料3
- (4) その他
 - ① 埋蔵文化財センター春季企画展「海を見つめて」報告等（文化財課） 資料4
 - ② 神戸市立博物館リニューアルオープンについて（博物館） 資料5
 - ③ 北神図書館の開館、利用状況について（図書館） 資料6

3. 閉 会

学ぶ・活かす・つながる
～そして、明日の神戸～



生涯学習のマスコット
「マナビィ」

第 3 5 期（第 2 回）神戸市社会教育委員会議事録（要旨）

1. 日 時：平成 3 1 年 3 月 7 日（木） 1 5 : 1 0 ~ 1 6 : 0 0

2. 場 所：神戸市生涯学習支援センター 2 0 1 多目的室

3. 出席者：

(1) 社会教育委員 8 名（辻委員、藤坂委員欠席）

(2) 事務局 荒牧教育施策推進担当部長、宮崎地域連携推進課長、中井首席指導主事、
安田担当課長（埋蔵文化財センター）、鎌田担当課長（中央図書館）、
小野田学芸課長（博物館）、浅野首席指導主事 他

4. 開 会：地域連携推進課長

5. 議事・報告事項：

（1）第 3 5 期第 1 回会議議事録【要旨】の確認について

（事務局）資料 1 により、前回の会議議事録（要旨）について説明

（議 長）質問、意見はあるか。

（委員全員）特に質問、意見なし

（2）「次期神戸市教育振興基本計画」について

（事務局）教育委員会として次期の 5 ヶ年計画になるが、次期神戸市教育振興基本計画について、検討委員会を開催した。現在までの状況を報告するので、その内容について、社会教育委員としてのご意見を賜りたい。

今までに、この検討委員会は 2 / 1 5（金）と 3 / 6（水）の 2 回開催されており、第 1 回では、計画策定の趣旨や位置づけといったことを確認すると共に、策定主体は教育委員会であることの確認、現行計画である第 2 期の総括及び今回の策定の視点についての説明と議論がなされた。

具体的には 5 頁から 1 0 頁にかけて、策定の視点についての資料を添付している。特に人口動態を見ていただくと、色々な地域から人が出たり入ったりしている様子が描かれている。特に国外からの人口増加も見受けられる。こういう現状を意識して策定する必要があるということだ。

また、8 頁にあるように、国の動きとして第 3 期教育振興基本計画や学習指導要領等の改訂も踏まえる必要がある。そして神戸市教育大綱、これらを総合して策定していくという方向の確認が行われた。

そして神戸市生涯学習総合計画及び第 3 次神戸市子供読書活動推進計画については、新たに計画は定めず、第 3 期神戸市教育振興基本計画に盛り込み、それらの後継計画として位置づけることを明記されている。これに伴い参考資料として 1 1 頁から 1 4 頁に渡り、現在までの取り組み状況を共有される形となった。

次期教育振興基本計画についてだが、現在教育委員会全体が学校教育に注力する方向に舵を切ろうとしているので、その方向を意識したまとめ方になっていくと思う。

この第 1 回検討委員会で委員から出た意見としては、学校教育の重要性、生涯に

渡って学びあうこと、どう活かすのか、これらを地域の協力のもとで作上げていくのだ、ということ考慮した計画であるべきだというお話があった。それから、“神戸らしさ”を新しい計画にどう盛り込んでいくのか、という観点から持続可能な社会作りが大事なのではないかと、というものがあつた。

また、本日は欠席だが、辻委員から社会性を持った大人になるために、青年期に対するアプローチが大事だということ、それから PTA 役員である宮澤委員からは教員の多忙化対策の一環で部活改革が行われているが、その研修のこと、また保護者への負担も大きくなる中、共働きの家庭ではどう折り合いをつけていくのか、といったご意見も出た。

それらを踏まえて、昨日行われた第 2 回の検討委員会の資料を後ろに添付しているが、こちらでは現行計画の総括に対する議論の続きの他、神戸の教育理念、目指す子供像といったものの提示に対する意見が出され、それに続いて実施計画の基本政策や重点事業の案が審議された。

社会教育に関しては、主に基本政策 2 の重点事業 1 3 の“地域と学校との連携・協働を進める社会に開かれた教育の実現”、重点事業 1 4 の“地域に活かし・つながる社会教育の充実”に該当している。これらの考え方として、“社会に開かれた教育の推進”と“社会教育の充実”という形で記載されており、前者については、新学習指導要領を踏まえて設定、後者については、子供を含めた地域全体に書くライフステージでの学びを還元していくことを明言したものだ。

第 2 回の検討委員会でも議論が活発となり、またいくつかの修正が入ると思う。今後も検討が入るという前提の上でご覧いただいて、ご意見をいただければと思う。

また、子供の読書推進活動の計画についてだが、読書活動は他の項目との連動や全般的なこととの関わりが深いことから、残念ながら、現時点で単独では入っていないが、第 2 回の会議の際に、オブザーバーとして参加していた現職の学校長より、学習指導要領の中で 8 割近くの学校長が読書を重視する旨の（アンケート）結果があることから子供の読書活動に力を入れたい、との意見があつた。重点事業の 1、2、1 3、1 4 あたりに盛り込まれるかと思う。

今後の教育振興基本計画におけるスケジュール感だが、更に検討委員会を何度か重ねて重点事業や目標を 6 月頃目処に具体的につめていき、8 月頃に案として固めたいということだ。

社会教育委員会議についても、例年であれば次回 7 月頃だが、教育振興基本計画の進行が早いため、場合によっては早くお集まりいただく、または違った形で参集させていただく可能性もある。そういった場合には、ご協力をお願いします。

（議 長）質問、意見はあるか。神戸市の教育振興基本計画に対して、社会教育の立場から意見を言うことを求められていると思う。

（花岡委員）確認だが、神戸市生涯学習総合計画と第 3 次神戸市子供読書活動推進計画については、新たな計画は定めず第 3 期神戸市教育振興基本計画に盛り込まれ

るということによろしいか。

(事務局) そうだ。単独計画はつukらないとのことだ。

(議 長) 本当は逆に生涯学習総合計画に、色々な計画を盛り込むべきだと思う。性質的には同質ではないので、それぞれ別にあるというのもひとつの選択だとは思うが。

(花岡委員) ちなみに他の市町村行政の現状はどうか。

(事務局) それぞれの市町村でばらばら。生涯学習については、努力義務という形になっているが、総合計画を作っている自治体は多い。教育振興基本計画については、ない自治体は基本的にない。

(花岡委員) 神戸市は今回、これらを統合すると。

(事務局) 市としては、こういった計画が複数ある現状から、ある程度整理し、まとめたものにしようという動きで。その中で教育においては、教育振興基本計画が一番メインになる、そこに落とし込んでいこうという流れだ。

(議 長) このあたりの問題意識は、この後に説明いただく、組織改正のところで説明してもらおう。

(目黒委員) ちょうど国が第4次の読書活動の推進に関する基本的な計画を昨年度策定し、それに基づいて色々な自治体が動きだしている。前回にも申し上げたが、見せ方というか、(神戸市は) 政令市として第4次読書活動推進計画が分かりやすい位置におかれていない、というのは、非常に後退しているように取られると思う。

対外的に、しっかり見える形で重点事業として出すのか、具体的なところはまだないが、ちゃんと出していないと(神戸市は) 後退しているな、と取られかねないと、非常に危惧している。

(議 長) おそらく、それは何らかの形で入ってくるかと思う。先日の会議では、読書、というより読解という言い方でとっかかりを感じた。読解力、という部分で少し読書とは違うが、注視していく、ということで、ここから、読書というアクティビティに他にどんなアクティビティを足してバランスよく作っていくのか、という点で明確にしていくのではないか。

神戸らしさ、というのを学校でやっていく中で、“トライやるウィーク”というフィールドワーク系の学習活動が、例に出ていたが、それ以外が挙がらない状況だ。

授業力をつける、ということを校長先生方は大事にされておられるが、授業力をつける方法は研修しかない、という議論になった。しかし内実はもっと違うと思う。おそらく、そういうことが浮かび上がってくれば、読書活動等が挙がってくるのではないかと思う。

(井上委員) 重点事業2 豊かな心の育成、についてP.18の考え方に“読書活動”の記載があるように、この部分を膨らますことが出来れば、読書活動が後退したという印象にならないように出来るのではないか。

(議 長) 読書というのは本来方法論であるにもかかわらず、環境教育や人権教育、

伝統文化を学ぶ、というところに横並びになっていること自体が疑問だ。

先ほど見せ方、という観点の話もあったが、強く前面に押しと反発するし、どうやって印象付けるかという点は慎重にならないといけない。

(花岡委員) 2点ある。1つ目は、学校だけでなく、地域コミュニティにおける活動の重要性、2つ目は、先ほど挙げた“豊かな心の育成”について、賛成だが、「歴史に学び、自然に学び」という私の思いから言うと、この豊かな心の育成には“歴史”が足りないのではないか、これも大事なことだと考える。

(齋藤委員) 生涯学習がいかに地域で、色んな団体、関与者をネットワークを基に運営され、たくさんの人が参画し、したい時期にしたい内容を学べるということが重要で、それが出来ているかどうか、今後のその地域の持続可能性に関わると思い、私自身社会教育に関わっているが、その視点からこの(教育振興基本)計画を見ると、やっぱり学校が主語で子供たちに関わるものオンリーで、重点事業の中に地域に関する項目が入っていても、子供から離れるものではない、というのが全ての人に開かれるべき生涯学習として、どうしようもないものなのかと考えてしまう。

それこそ見せ方の問題かもしれないが、地域の学び、というものを基本政策3という形で別の体系に出来ないのか、というのが率直な感想。それは、最終的に子供につながるものであったとしても、という意味で。

(花岡委員) 一点質問だが、この“言葉の力の充実”というものは、読解力として先ほど話に挙げたが、この議論が上がった背景というものを教えてほしい。

(事務局) 第2期(教育振興基本計画)の中で、言葉の力ということで、きちんと理解し、使えるように、と、いわゆる国語力だが、その頃からキーワードとして“言葉の力の充実”ということが議論に上がってはいた。その時は、特色ある教育の中のひとつに位置づけられていたが、今回の計画では、特色がたくさん挙がっていたということもあり、絞っていこうという方向で議論した中で、前計画から議論されているということだ。

(花岡委員) 今回は(特色ある教育から)外れた、ということか。

(事務局) 外れたというよりは、これは行う前提で進めていこう、という意味合いで検討しているということだ。

読解力というと、読書との議論において、まず読むだけでなく理解できるようにすることが重要だろうと、生きていくための色々なベースとして本を読んで、たくさん色々なことを知っていくという点で重要であるという話だ。

(議長) それぞれの立場で様々な意見を以って、検討されていく本件だが、大きな流れとしては、学校の子供たちの能力を高めるために、授業力の向上を通じて、学校教育を再整備したいというのが大前提にあると思っている。

教員の不祥事やいじめ問題がある中、社会教育がどこまで貢献できるのか、と考える中、貢献できないのではないかと、といった雰囲気当初この柱(重点政策等)はあったかと思う。それをどう変えていくのか、というのが課題

かと考える。

文化、風土を変えていくのは、社会教育だと私は信じている。

(3) 「公民館利用者アンケート」について

(事務局) 資料3により、公民館利用者アンケートについて説明

(議長) 質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

(4) 「平成31年度教育委員会組織改正等」について

(事務局) 資料4により、平成31年度教育委員会組織改正等について説明

(議長) 質問、意見はあるか。

(齋藤委員) 今、市民参画推進局で、神戸市リカレント教育アンケートをとっておられるかと思う。これは学びに対する傾向の把握と今後の講座運営に活かしていくとのことなのだが、この組織改正によって市民参画推進局に学びの事業が移っていくということもあって、横割り会議等を通じてさらに組織を改正されていくかと思うのだが、今まで培ってきたものがパワーアップされるような運営体制で行われていくことを希望する。

神戸市として生涯学習のブランドデザインを持つということは、イコール人やお金をかけることではない、ということだと思う。

ブランドデザインは必要であるけれども、民間や地域の力を使うことをデザインすれば、行政として人やお金をかけなくても出来ると思うし、そういった意味で、今、神戸市において社会教育や生涯学習がどういった位置づけに置かれているかが重要になるかと思うが、やはりなくてはならないもの、これからニーズが高まっていくものだと思う。だからこそ、それ(ブランドデザインと人・お金をかけること)を一緒に考えてほしいと願う。

(5) その他①「神戸市立中・義務教育学校部活動ガイドライン」について

(事務局) 資料5により、神戸市立中・義務教育学校部活動ガイドラインについて説明。

(議長) 質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

(6) その他②「埋蔵文化財センター冬季企画展」等について

(事務局) 資料6により、埋蔵文化財センター冬季企画展等について説明

(議長) 質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

(7) その他③「北神図書館の開館」等について

(事務局) 資料7により、北神図書館の開館等について説明

(議長) 質問、意見はあるか。

(委員全員) 特に質問、意見なし

(議長) 本日の議題はすべて終了したが、全体を通して何か意見があればどうぞ。無いようなら事務局に進行をお返しする。

6. 閉 会

(事務局) 長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。次回の社会教育委員会議は夏頃を予定しております。改めて日程調整をさせていただきますのでよろしく申し上げます。

本日はありがとうございました。それでは会議を終了いたします。

【以上】

令和元年度 社会教育関係団体補助金交付について

(社会教育法第13条関連)

	神戸市PTA協議会	神戸市婦人団体協議会
会 員 数	約130,000人	約46,000人
補 助 金 予 算 額	300,000円	555,000円
神戸市社会教育関係団体補助金交付要綱第2条関係	実施事業	
(1) 図書、記録、視聴覚教育の資料等収集、作成または提供	・PTA校種別区別研修会実施報告書	・神戸市婦人団体協議会活動報告書「1年のあゆみ」
(2) 社会教育の普及、向上または奨励のための援助、助言	・会長、副会長研修 ・PTA未結成校への取り組み ・毎月の定例役員会、年間10回程度の専門委員会 ・5校種合同研修会	・会長研修会、区中堅幹部研修会 ・毎月の定例会、単位婦人会連絡会研修 ・婦人市政懇談会(市共催) ・さわやかフォーラム(県共催) ・ふれまち事業 ・エコタウン活動(資源回収・広報)、美緑花ボランティア活動(公園内清掃・除草・灌水)の実施 ・トライやるウィークの受け入れ ・災害時要援護者への支援活動(見守り、声掛け、避難誘導、生活支援) ・婦人防災安全委員(消防局連携)
(3) 社会教育関係団体間の連絡調整	・日本PTA全国研究大会 ・近畿ブロックPTA研究大会 ・指定都市PTA情報交換会	・女性教育施設職員のための研修、全国大会等への参加(全国赤十字大会、(公財)明るい選挙推進協会全国フォーラム他) ・他都市女性教育団体と交流
(4) 機関紙の発行、資料の作成配布による社会教育に関する宣伝啓発	・広報紙「PTA神戸」の発行(年3回) ・ホームページの開設運営	・機関紙「婦人神戸」の発行(月1回) ・ホームページ、フェイスブックの運営
(5) 体育、運動競技若しくはレクリエーションに関する催しの開催、参加	・文化事業「KOBEファミリーコンサート」の開催	・神戸まつり等への参加 ・民踊のつどい、民踊の夕べの開催 ・春の音楽祭の開催 ・ママさんバレーボール大会の開催(春・秋・こよう長寿祭) ・ママの腕くらべ展の開催
(6) 社会教育に関する研究調査	・「広報」「研修」「健全育成」の各分野の専門委員会による討議・研究 ・専門委員会だよりの発行	・消費者問題、スポーツ、女性問題、教養文化、地域防災、環境問題、手芸、美緑花、地域福祉、救急救命、情報の11テーマの調査研究及び技能取得、講座の実施(自分磨き・白バラ)
(7) その他社会教育の振興に寄与する公共的意義のある適切な事業	・「家族が熱い一週間」協賛活動 ①「ミニレター、三行詩&フォト応募作品募集と展示」 ②「神戸市PTAフェスティバル」	・ハミング広場(フラワーベース設置) ・市民花壇や清掃美化活動、資源回収 ・デイサービス(神戸市地域拠点型一般介護予防事業) ・ファミリーサービスクラブ(家事援助、外出・通院介助) ・ふれあい喫茶 ・給食・配食サービス ・子育て支援(保育園、幼稚園、児童館との交流) ・子ども支援活動(子ども食堂、居場所作り、学習支援(大学連携)) ・あいさつ運動 ・小・中学校への協力(昔遊び、登下校時の見守り等)

※上記の他に、神戸市教育委員会等から事業を受託し実施している。

婦人団体協議会：親子の学び教室、市立婦人会館指定管理業務、地域協働型文化育成事業、神戸婦人大学の運営 等

第 3 期神戸市教育振興基本計画の検討状況について

I 計画策定の趣旨

1 趣旨

本市では、平成 20 年度に「神戸市教育振興基本計画」、平成 25 年度に「第 2 期神戸市教育振興基本計画」を策定し、教育の充実に取り組んできた。

また、平成 28 年 1 月には「神戸市教育大綱」を策定し、小中学校を中心とした学校教育に焦点を絞り、7 つの方針を定めた。

平成 30 年度の「第 2 期神戸市教育振興基本計画」期間終了を踏まえ、本計画を継承・発展させた「第 3 期神戸市教育振興基本計画」を策定し、今後 5 年間の教育の充実に向けた方向性等を定める。

2 位置付け

本計画は、教育基本法第 17 条第 2 項の規定に基づく、「地方公共団体の定める教育の振興のための施策に関する基本的な計画」であり、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 1 条の 3 に基づく「神戸市教育大綱」を踏まえて策定する。

3 期 間

令和元（2019）年度から令和 5（2023）年度まで（5 年間）

4 計画の重点化

教育委員会が所掌する教育の取組を範囲とし、他局の所掌する事業はそれぞれの計画に委ねるなど効率化を図り、計画の重点化を行う。

また、神戸市全体における計画に関する見直し方針に沿って、平成 30 年度末で計画期間が終了した「神戸市生涯学習総合計画」及び「第 3 次神戸市子供読書活動推進計画」については、新たな計画は定めず、教育委員会の所掌する事務について、第 3 期神戸市教育振興基本計画に盛り込み、それらの後継計画として位置付ける。

神戸市生涯学習総合計画から継承する主な事項

重点事業 14 地域に活かし・つながる社会教育の充実

- ◆生涯の「学ぶ」機会の充実、地域に還元する「活かす」学習活動の支援
- ◆新しい社会の力の創造に資する「つながり」の促進
- ◆地域交流、コミュニティ活動の場の充実
- ◆人生を豊かにする文化・芸術・歴史にふれあう身近な機会の充実
- ◆神戸の文化財や伝統文化等の保存・活用・継承
- ◆ライフスタイルに応じた学びを支援する図書館サービスの充実

第3次神戸市子供読書活動推進計画から継承する主な事項

重点事業1 確かな学力の育成
<ul style="list-style-type: none"> ◆「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書の配置を拡充し、学校図書館の活用を促進。 ・朝の読書、学校図書館や学級文庫の活用等、さまざまな活動を通し、児童生徒の読書活動の機会の充実及び読書活動の習慣化を推進。
重点事業2 豊かな心の育成
◆学校図書館を活用した読書活動の推進
重点事業14 地域に活かし・つながる社会教育の充実
◆子供読書活動の推進

5 検討状況

(1) これまでの経過

計画の策定においては、事務局・学校園の組織力強化や教職員の資質向上について、「組織風土改革のための有識者会議」の議論を踏まえて検討を行う必要があるため、本有識者会議の二度の中間とりまとめを待って、神戸市教育振興基本計画検討委員会を平成31年2月に設置し、これまで計6回開催し、検討を進めてきた。

(2) 今後の予定

「組織風土改革のための有識者会議」の最終とりまとめを踏まえて本計画の素案をとりまとめ、市会への報告もしながら、パブリックコメントの実施、神戸市教育振興基本計画検討委員会における案のとりまとめ、策定と、市会や市民の意見も伺いながら進めていく。

II 検討内容

1 基本政策及び重点事業の設定

教育を取り巻く現状や、第2期計画の総括等を踏まえ、第3期計画においては、2つの基本政策、14の重点事業を設定する。

基本政策1 心豊かに たくましく生きる 神戸の子供を育む

- (重点事業1) 確かな学力の育成
- (重点事業2) 豊かな心の育成
- (重点事業3) 健やかな体の育成
- (重点事業4) 一人一人に応じたきめ細かな教育・支援の充実
- (重点事業5) 人格形成の基礎となる幼児教育の質の向上
- (重点事業6) 特色ある高校教育・高専教育の推進
- (重点事業7) 神戸の国際教育・防災教育のさらなる推進

基本政策2 安全・安心で楽しい学校を築き、地域と共に子供を支える

- (重点事業8) いじめを許さず生き生きと過ごせる学校生活の実現
- (重点事業9) 教職員の資質・能力の向上と学校の組織力の強化
- (重点事業10) 教育の質を高める教職員の働き方改革の推進
- (重点事業11) 安全・安心で質の高い学校教育環境の整備
- (重点事業12) ICTの基盤整備と利活用の促進
- (重点事業13) 地域と学校との協働による社会に開かれた教育の実現
- (重点事業14) 地域に活かし・つながる社会教育の充実

2 重点事業 14 の取組

重点事業
14

地域に活かし・つながる社会教育の充実

一人一人が生涯にわたって学ぶきっかけづくりを推進し、能力を発揮して人と人がつながる社会を目指し、豊かな創造性を備えた持続可能な社会づくりの担い手を地域で育むとともに、学びの成果を社会に還元します。

取組の方向性

- ◎社会教育施設において、学ぶ機会の充実や学習還元活動の支援等を進めます。
- ◎人生を豊かにする文化・芸術・歴史にふれあう身近な機会の充実を進めます。
- ◎神戸の文化財や伝統文化等の保存・活用・継承を推進します。
- ◎ライフスタイルに応じた学びを支援する図書館サービスを充実させます。
- ◎子供読書活動を推進します。

■主な取組

①生涯の「学ぶ」機会の充実、地域に還元する「活かす」学習活動の支援

- ・「学び」によって大人もいつでも変われることや、人や社会とのつながりで新たな価値観が生まれることを次世代に伝える重要性を踏まえ、社会教育施設において、学習機会の充実を図るとともに、市民の自主的な生涯にわたる学習を促進し、成果を地域に「活かす」学習還元活動を支援。
- ・拠点となる公民館を中心に、健康や環境、防災、多文化共生といった社会情勢に応じて変化する課題に対応した講座等を開催し、地域の特色と社会の要請に応じた学習機会を提供。

②新しい社会の力の創造に資する「つながり」の促進

- ・持続可能な社会づくりの担い手の養成の観点も踏まえながら、「つながり」による新たな価値観を創造する学びの場づくりを推進するため、社会教育関係部局をはじめ、大学や青少年育成団体等を含む社会教育施設・団体との連携を推進。

③地域交流、コミュニティ活動の場の充実

- ・学校施設をスポーツや文化活動等に地域に開放する学校施設開放事業を実施。
- ・世代を超えた地域交流の場として、地域のボランティアの協力により、小中学校の市民図書室を運営。
- ・史跡等の文化財を核として、地域と協働して保存・活用事業を実施。

④人生を豊かにする文化・芸術・歴史にふれあう身近な機会の充実

- ・博物館や小磯記念美術館、神戸ゆかりの美術館において、国内外の博物館・美術館の名品、館蔵コレクション、地域文化に焦点をあてた展覧会等を開催。
- ・博物館や小磯記念美術館、神戸ゆかりの美術館において、関係諸機関と連携し、展覧会、コレクション、地域文化を深く知り、体感するための普及事業を実施。
- ・埋蔵文化財センターや内田家住宅・ラインの館等の文化財公開施設で、地域の歴史に関する情報を提供。

⑤神戸の文化財や伝統文化等の保存・活用・継承

- ・文化財の調査・指定等、修理や管理への助成等、公開活用、普及啓発事業等を行い、市民文化の向上を推進。
- ・文化財保存活用地域計画策定に向けての調査および検討を実施。
- ・博物館や小磯記念美術館、神戸ゆかりの美術館において、計画的な館蔵資料・地域文化の調査に関する計画の立案、実施を行い、研究紀要、展覧会図録、その他の媒体を用いて広く市民に研究成果を発信。
- ・博物館や小磯記念美術館、神戸ゆかりの美術館等において、文化財を次代に伝えていくための適切な保存環境、収蔵環境を維持。

⑥ライフスタイルに応じた学びを支援する図書館サービスの充実

- ・地域の情報拠点、生涯にわたる学習拠点として必要な資料をさらに充実させ、一人一人のニーズやライフスタイルに応じた学習機会を提供。
- ・電子図書館など新たなサービスや機器の導入を進めることで、図書館サービスの利便性をさらに推進。
- ・障害がある人、外国人や外国にゆかりがある子供など、図書館利用に支援が必要な人に対して、大きな活字の図書や日本語学習用図書、母語の絵本等、それぞれに配慮した資料やサービスを提供するとともに、利用環境を整備。
- ・基本計画に基づき、「新しい出会い、新しい発見がある、本の『広場』」のコンセプトで新・西図書館を、「美しい 知と情報のゲートウェイ」のコンセプトのもと新・三宮図書館をそれぞれ整備するとともに、垂水図書館の移転・拡張も検討。

⑦子供読書活動の推進

- ・子供の年齢層や状況に応じ、家庭、地域、学校園、図書館等子供が生活するさまざまな場において、読書環境の整備や読書意欲の向上に資する取組、啓発・情報提供等を促進。
- ・乳幼児期からの読書習慣の形成に資する資料・情報の提供として、ブックスタート関連事業や、市立図書館での乳幼児向けおはなし会等を実施。
- ・子供と読書を結びつけるため、読み聞かせやブックトーク、市立図書館での司書体験などの事業を実施。
- ・図書館を活用した調べ学習や知識の習得を支援するため、参考図書を充実させるとともに、調べ学習を支援する取組を実施。
- ・中高生が読書に興味をもてるよう、市立図書館に YA コーナーを設置するとともに、中学や高校と連携を推進。
- ・市立図書館の学校園向けサービスの充実や、司書教諭、学校司書に対する研修等の支援を促進。
- ・子供の読書活動推進に関わるボランティアとの連携事業を実施するとともに、ボランティア講座等により資質向上や交流を推進。

記者資料提供(令和元年8月22日)
教育委員会事務局博物館学芸課

～展示内容をさらに充実、ナイトミュージアムも開催～
**神戸市立博物館 初のリニューアルオープン!!11
月2日(土曜)**

このたび、神戸市立博物館は、昭和57年(1982)の開館以来はじめて、常設展示を全面的に刷新し、令和元年(2019)11月2日(土曜)にリニューアルオープンします。

当館は、市立南蛮美術館と市立考古館を統合し、神戸の歴史を展示に加えた人文系の総合博物館として昭和57年11月に開館いたしました。開館から30数年を経て、博物館への社会的要請も変化し、また、施設の老朽化も進んだことから、平成27年(2015)度に基本計画を策定し、平成30年2月より大規模なリニューアル工事を実施してきました。

1. 概要

今回のリニューアルでは、昭和10年竣工の近代建築である当館の建物外観はそのままに、館内のゾーニングを全面的に見直すことにより、より魅力的な展示空間を構成しました。

(1) 歴史展示室の新設と無料開放(1階エリア)

- ・従来の常設展示室を再編した「神戸の歴史展示室」を新設し、体験学習室と情報コーナーを併設、ミュージアムカフェ・ショップも一新しました。
- ・1階は入場無料となり、より開かれた親しみやすい空間となっています。

(2) コレクション展示室の新設など(2階エリア)

- ・2階には、桜ヶ丘銅鐸・銅戈群(国宝)、聖フランシスコ・ザビエル像(重要文化財)をはじめとする所蔵品を展示するための「コレクション展示室」を新設しました。

(3) 高校生以下無料、大学生は半額

- ・特別展やコレクション展示室の料金は、高校生以下無料、大学生は一般料金の半額となります。

資料 5

(4) ナイトタイムミュージアムの実施

- ・毎週土曜日は午後9時まで開館します。今後、さらに拡大を検討していきます。
- ・正面玄関の照明設備をLEDライトに更新し、季節やイベントに合わせて、様々な色でライトアップを行います。

(5) さらなる魅力的な特別展の開催

- ・特別展に関しては、さらに魅力を高めた企画を、随時開催します。
- ・リニューアルオープン後の特別展は、当館所蔵の名品を厳選して展覧する「神戸市立博物館名品展—まじわる文化、つなぐ歴史、むすぶ美—」〔会期：令和元年11月2日(土曜)—12月22日(日曜)〕です。
- ※さらに、授乳室の新設やトイレの改修など、各種アメニティも整備しています。

2. リニューアルの内容

1階(入場無料)

○神戸の歴史展示室

1階と2階に分かれていた常設展示室を集約し、より作品を鑑賞しやすい展示ケース、映像機器などを導入して、「神戸の歴史展示室」として再編。神戸の海・港を介して営まれてきた文化交流の実態と、それらが歴史に与えた影響について、時代順に学ぶことができます。

○地域文化財展示室

定期的にテーマを変えながら、神戸の歴史を語るうえで欠かせない資料を展示します。

○ミュージアムカフェ

博物館の建物が造られた昭和10年の雰囲気を生かした、アール・デコの機能美が心地よいレトロモダンな空間となりました。明治時代の異人館「旧トムセン邸」の部材を使用した特別室もオープンします。

○情報コーナー

博物館のコレクション、近世・近代神戸の景観資料、市域の史跡や関連施設等を検索できます。

各種映像コンテンツなどもご利用いただけます。

2階

○コレクション展示室

桜ヶ丘銅鐸・銅戈群、聖フランシスコ・ザビエル像、考古・歴史、古地図、美

術、びいどろのコレクションを展示します。教科書にも登場する国宝の銅鐸群は、独立した展示ケースにより、360度から常時ご覧いただけます。ザビエル像は、専用の薄型ガラスケースに展示し、至近距離から、細部までを詳しく鑑賞できるようになります。

[コレクション展示室料金]

一般 300円

大学生 150円

高校生 無料

特別展料金は別途定めます。

北神図書館の開館、利用状況について

1. 旧の北神分館と、現在の北神図書館の比較

	北神分館	北神図書館
面積	931 m ²	1320 m ²
蔵書冊数	104, 110 冊	127, 260 冊

＜新しい機能、設備＞

- ・ブックラウンジ
- ・公衆無線 LAN
- ・セミナー室
- ・書籍消毒機
- ・読み上げ機能付き拡大読書機
- ・オンラインデータベース（3種）
 - 「官報」・・・内容を日付やキーワードを指定で検索・閲覧
 - 「BOOK PLUS」・・・昭和元年～現在までに出版された本の情報を約510万件収録
 - 「ルーラル電子図書館」・・・農業分野のデータベース

2. 利用状況

	入館者（前年比）	登録者数（前年比）	貸出冊数（前年比）
4月 ※23日～30日	16, 538 人 (2. 87 倍)	754 人 (16. 01 倍)	21, 655 冊 (2. 25 倍)
5月	45, 427 人 (2. 28 倍)	1, 214 人 (7. 76 倍)	49, 362 冊 (1. 48 倍)
6月	42, 582 人 (2. 21 倍)	827 人 (4. 30 倍)	51, 430 冊 (1. 60 倍)
7月	44, 707 人 (2. 37 倍)	864 人 (3. 89 倍)	53, 578 冊 (1. 69 倍)

現在位置 [トップページ](#) > [総合メニュー](#) > [市政情報](#) > [施設情報](#) > [公民館・図書館・文書館](#) > [図書館](#) > [施設一覧](#) > 北神図書館

北神図書館

[ツイート](#)

最終更新日2019年9月3日

北図書館北神分館は機能を拡充し、平成31年4月23日「北神図書館」として、隣接する商業施設エコール・リラ南館4階に移転・開館いたしました。



北神図書館の開館に寄せて

槻橋 修(神戸大学准教授/ティーハウス建築設計事務所)

ちょうど1年前に「Book Farm -本の畑-」というコンセプトを提案してから超短期間でのプロジェクトでしたが、家具デザインの藤森泰司様(藤森泰司アトリエ)、照明の岡安泉様(岡安泉照明設計事務所)、グラフィックデザインの和田武大様(デザインヒーロー)のご協力を得て、素敵な「晴耕雨読」の空間に仕上がりました。

一般オープンとともに大勢の人が流れ込み、思い思いの場所を見つけて本を読んだり新聞を広げたり、勉強をはじめたり。地域における図書館の役割の大きさを肌身で感じられる体験でした。

神戸電鉄岡場駅の目の前です。SC駐車場もたっぷりありますので是非足を伸ばしてくつろいでいただければと思います。

